# 本日の内容

- さまざまな波形
- ノコギリ波/矩形波/三角波
- 減算合成
- 減算合成法とは
- アナログシンセサイザーのシミュレーション

Computer Music 2

担当:小林良穂

Computer Music 2

## さまざまな波形

Computer Music 2

- 第7回 -

## ノコギリ波

• 徐々に直線的に上がって急激に下がる

$$y = \sum_{k=1}^{\infty} \frac{\sin kx}{k}$$



Computer Music 2

Computer Music 2

# 矩形波

- 2つの値の間を瞬間的に切り替わる四角形の波
- 奇数倍音のみを含んでいる

$$y = \sum_{k=1}^{\infty} \frac{\sin((2k-1)x)}{2k-1}$$



#### 三角波

- 直線的な上下動を繰り返す三角形の波
- 奇数倍音のみを含む

$$y = \sum_{k=1}^{\infty} \sin\left(\frac{k\pi}{2}\right) \frac{\sin kx}{k^2}$$



Computer Music 2

Computer Music 2

## ノコギリ波/矩形波/三角波の特徴

- 理論的には無限個の倍音を含む
  - ノコギリ波は全ての整数倍音を含む
  - 矩形波/三角波は**全ての奇数倍音**を含む

#### 減算合成

Computer Music 2

Computer Music 2

#### 減算合成法とは

• 多くの倍音を含んだ音から周波数成分を引いて音色を作る

#### フィルタリング

特定の周波数成分を取り除く/抽出する操作

#### フィルター

フィルタリングに使われる機材または計算処理

## アナログシンセサイザー

減算合成はアナログシンセサイザーの合成手法 として広く使われている



Computer Music 2

Computer Music 2

## アナログシンセサイザー

• 基本的なアナログシンセサイザーの構成



VCO: 発振器(オシレーター)、素材になる音を生成VCF: フィルター、倍音を削って音色を作る

• VCA: 振幅(音量)やエンベロープの調整

# step1. オシレーターを作る

• 基本的な波形で音を出せるようにする



Computer Music 2 Computer Music 2

# step2. ポルタメントを適用

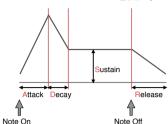
• line~ を使って音の高さを連続的に変化させる



Computer Music 2

### **ADSR**

アンプリチュード・エンベロープの設定に多く使われる



Computer Music 2

## step3. ADSRエンベロープ

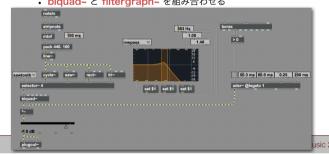
- adsr~ で設定(1で駆動、0で停止)
- borax で鳴っている音の数が分かる



Computer Music 2

# step4. フィルターの適用

• biquad~ と filtergraph~ を組み合わせる



## step5. LFO

- Low Frequency Oscillator の略
- 音にゆらぎを加える
- 周波数の小さい cycle~ 等で実現可能



step5. LFO

- filtergraph~ の設定はシグナルを受け付けない

Computer Music 2 Computer Music 2

# 第7回課題

#### • 減算合成による表現

- ・2つのMIDIトラックを用意して下記のパートに割り当てる 1.リズム 2.メロディ
- 曲は1分以内に収める

#### ヒント:

シン・サイザーを用いた電子音楽を広く参照してください。 直接のヒントが得やすいのは初期のシンセポップ、フィルターの使い方 についてはフィルターハウスといったジャンルが参考になると思います。

# 第7回課題

#### <提出方法>

Liveのファイルを"cm2-07\_学籍番号.als"で保存プロジェクトフォルダをZIPで圧縮して提出

#### <提出期限>

11月28日(火) 23:59

#### <質問>

ryoho@sfc.keio.ac.jp

Computer Music 2 Computer Music 2